

1. 科目名 (単位数)	幼児理解 (2単位)	3. 科目番号	SJMP2212 JNCS2405
2. 授業担当教員	坂本 真理子		
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	春期/秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>幼児期の保育は、幼児一人ひとりの発達の特性に応じ、発達の課題に即した指導を行うことが重要である。</p> <p>本科目では、幼児一人ひとりの行動や内面の理解、発達を適切に把握できるよう、実践事例（文献、映像）等を用いて、幼児の生活の実際とその理解、具体的な指導のとりえと意味、幼児期の保育における環境のとりえ方、評価の在り方、幼小の連携、並びに行事について学ぶ。</p>		
8. 学習目標	<p>以下の事項について学び、幼児の主体性を育てる保育を理解し、実践するための基礎を習得することをテーマとし、学習の到達目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育とは何か、保育における環境の在り方</li> <li>2. 子どもを見る視点、保育を見る視点</li> <li>3. 幼児期の発達の特徴</li> <li>4. 子どもの行動の意味と記録の方法</li> <li>5. 発達やかかわりに配慮を必要とする子どもへのかかわり方 保護者対応・支援</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>授業の理解度を図る為、小レポートを課す。</p> <p>期末レポート設題：なぜ環境による保育が幼児教育では求められるのか、授業で学んだことを踏まえまとめる。(1000)字程度</p>		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 新しい保育講座6 『保育方法・指導法』大豆生田啓友・渡邊英則 編著 ミネルヴァ書房</p> <p>【参考書】 厚生労働省『保育所保育指針』 文部科学省『幼稚園教育要領』 文部科学省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』</p>		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子ども（幼児）の内面と行動について、その基本的事項（意味、発達の特性、環境とのかかわり）を理解し、説明できるか。</li> <li>2. 保育状況における様々な幼児の姿の理解（深まりと広がり）の方法と、保育者としての適切なかかわり方について具体的かつ明瞭に説明できるか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業への態度、グループワークで共同する態度 総合点の30%、2. 提出物（小テスト、レポート）総合点の70%</li> </ol>		
12. 受講生への メッセージ	<p>幼児の内面を理解し、保育者としてどのようにかかわるか、具体的な場面を通して、共に探求し、考えていきましょう。</p>		
13. オフィスアワー	<p>別途連絡する</p>		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 授業概要、授業計画	事前学習	幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の第1章を読んでくる。
		事後学習	シラバス全体に目を通し、今後の進行を確認しておく。
第2回	幼児期の特性と心理	事前学習	教科書該当箇所を読んでくる。
		事後学習	幼児期の発達の特性と、関連する遊びについて理解する。
第3回	幼児期の遊びの意義	事前学習	身近な幼児の遊びについて調べておく。
		事後学習	幼児の遊びと学びの関係を理解する。
第4回	遊びによる総合的指導	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	遊びによる総合的指導と5領域の関係性を理解する。
第5回	生涯教育の中での幼児教育の特質	事前学習	教科書、配布資料を読み、幼児期の子どもの発達の特徴をまとめてくる。
		事後学習	生涯教育の中での幼児教育の重要性について理解する。
第6回	環境による保育①	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	なぜ、保育では「環境による保育」が求められるのか理解する。
第7回	環境による保育②	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	保育環境を構成する保育者のあり方、留意点を理解する。
第8回	幼児理解	事前学習	具体的な場面における子どもの姿をイメージしてくる。
		事後学習	集団生活における具体的な子どもの姿、行動を理解する。
第9回	保育方法の原理①	事前学習	保育場面（集団生活）における子どもの立場、気持ちをイメージしてくる。
		事後学習	個と集団の関係における子どもの側から観たその内的世界と外的世界をまとめる。

第10回	保育方法の原理②	事前学習	保育場面（集団生活）における、子ども同士、保育者との かかわりについてイメージしてくる。
		事後学習	グループディスカッションを通し、集団と個の関係、子 ども同士、保育者とのかかわりについてまとめる。
第11回	行事を生かした保育	事前学習	園での行事のあり方について調べておく。
		事後学習	行事の意義と目的を理解し、行事を生かした保育につ いて考察する。
第12回	保育者の専門性	事前学習	保育者の専門性について調べておく。
		事後学習	保育者の役割、資質、専門性、カウンセリングマインドに ついて理解する。
第13回	地域や小学校との連携	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	地域の協力があり園が成り立っている事、幼児教育で大 切にして来た事を小学校へと移行する大切さについて理 解する。
第14回	保育形態について	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	様々な保育形態の特徴を理解する。
第15回	振り返りとまとめ	事前学習	今まで学習した内容を確認してくる。
		事後学習	学習内容を整理し、幼児理解の知識と方法をまとめる。